

国際大学女性連盟 (IFUW) 第 29 回国際会議概要

後藤英子

食生活科学科 食品分析学研究室

An outline of the 29th International Conference of the International Federation of University Women (IFUW)

Eiko GOTO

Department of Food and Human Science

Key words : the International Federation of University Women 国際大学女性連盟, Cha-do 茶道

会議の概要

International Federation of University Women (IFUW) Conference は University of Manchester, Fallowfield Campus, Manchester, England において 10-16 August, 2007 に開催された。

開会式は 10/08/2007 19:30 より行われ、ケニオン会長挨拶と来賓の挨拶があった。

国際会議の日程は会議、講座、講演、ワークショップ、ID セミナーなどで構成され、親善パーティー、半日観光ツアーなども企画されていた。

第 29 回国際会議での全体会議、各分野での決議案として提案された主な項目は次のような案であった。

- 1) 女性をリーダーシップと意思決定のポストへ
- 2) 宗教信仰と女性の健康
- 3) 国際協力の視点から国連ミレニアム開発目標
- 4) 病気予防における女性の役割
- 5) 劣化ウランを含む武器の防止
- 6) 核兵器拡散防止 / 宇宙の兵器化回避
- 7) 国連平和維持
- 8) 軍事活動による環境被害の救済
- 9) 地球温暖化対策を文化面から後押し
- 10) 国連平和維持活動と女性

決議には行動計画が添えられ、各国大学婦人協会に対しそれぞれの地域社会で積極的な活動を展開するよう促している。

本提案における総会決議は次のようにまとめられ報告された。

- 1) 女性をリーダーシップと意思決定のポストへ

各国大学婦人協会 (以下、NFA) は、自国の政府に対しすべての社会分野において、リーダーシップと意思決定のポストに女性の参画を増やすための方策を立てるよう要求する。そして IFUW は NFA が自国の政府に対し、ジェンダー予算、財政政策、各種の達成目標が、この方策には有益な手段であることを強調するよう勧告する。

- 2) 国連に女性のための上級機関設立を求める。

女性事務次官のもと、国レベルでの取り組みに先鞭をつけ実施する恒久的機関として NFA は自国政府に支援を働きかける。

- 3) 宗教信仰と女性の健康

NFA に対し、自国の政府へ次のように働きかけることを決議する。

政策の採択と施行にあたっては北京行動綱領を参照しつつ、良い健康増進の原則に従い、かつ個人々の宗教的信仰は尊重すべきである。

- 4) 国連ミレニアム開発目標 (MDGs) への約束

NFA は自国の政府に対し、MDGs に関する固有の公約を確立または確認することを求め、それにより 2015 年までに既存の目標が達成できるようにする。ことに

1. 公約した援助の提供
2. 計画立案や援助に対する被援助国の発言許可。
3. 開発における国際パートナーシップの要請。
4. 集団的責任にもとづくパートナーシップの実現特に女性の役割。
- 5) 病気予防における女性の役割

1. IFUW 理事会が UNESCO、ECOSOC、WHO への代表者および国連共同エイズ計画 (UNAIDS) と国連人口基金 (UNFPA) を通して、次の提唱活動を行うこと。つまり、健康と衛生に関する女性の知識と、家族や共同体の人々の行動様式に影響力を行使する力を開発するための取組を最優先課題とする。
2. NFA は自国の政府に対し、女性と女兒が健康、衛生、病気予防のあらゆる面について十分な教育を受けられるような取組に資金を提供するようはたらきかける。
3. NFA は自国の政府に対し、女性が自らの健康管理を自主的にできるような法的枠組みを制定するようはたらきかける。
- 6) 劣化ウランを含む武器の防止
 1. IFUW 理事会が、国連の適正な機関に対して、劣化ウランの人体と環境に及ぼす長期的、短期的影響を決定的に明らかにするための独立した国際調査を実施するよう求めること。
 2. NFA は、上記の調査結果により、各国政府に対して、自国の軍隊が劣化ウランを含む武器を使用することを禁じ、国際軍事法の下で、軍備への劣化ウラン使用を非合法化し、国際刑事裁判所において告訴可能となるように国連での行動を起こすこと。
- 7) 核兵器拡散防止 / 宇宙の兵器化回避

NFA は自国の政府に対して以下を要求する。

 1. 核兵器の拡散防止と軍備縮小を支援すること。
 2. 核兵器削減を最重要課題とするために国際社会と協力すること。
 3. 宇宙の兵器化を回避するために可能なあらゆる手段を遂行すること。
- 8) 国連平和維持

IFUW は、自らの国連への代表者たちを通して以下のことを求める。

 1. 国連平和維持活動に携わる職員にジェンダー問題および女性と子どもの権利に関する意識を高めるためのトレーニングをより頻繁に行うこと。
 2. 国連安全保障委員会決議 1325 が、特に平和維持活動隊内における女性の役割を強化する方針に関して、厳密に実施されること。
- 9) 軍事活動に関する環境被害の救済

1. IFUW と NFA は、軍事活動に起因した環境被害状況の査定に際し、ジェンダーの視点を入れるように提唱活動を行う。
2. IFUW は NFA に呼びかけ、自国の政府に対し、軍事活動に起因した環境被害の影響を救済する政策や実施方針を打ち立てるよう要請する。
3. そのような政策や実施方針は自国の領土内に限らず、軍事活動に巻き込まれたその他の国々にも、関係する政府の同意があれば適用されるべきである。

10) 地球温暖化

1. IFUW 理事会が、ユネスコ代表を通じて、地球温暖化の影響を認識する独創的芸術家や科学者に協力を要請し、地球温暖化の緊急性を訴える、想像力を駆使した、包括的・説得力のある作品を提示してもらうフォーラムを開催するようはたらきかける。
 2. NFA に対し、各々自国で上記の趣旨に沿ったプログラムや行事・催し物を支援するよう提言する。
- (原文は <http://www.ifuw.org/ifuw2007/resolutions/29conf-resolutios-adopted.doc>。参照)

所感 1

以下に、JAUW が企画した Work Shop Tea Time-Japanese Style に参加した所感を纏めた。

ワークショップによるお茶会は 12/08/2007 14:00 から 17:00、University of Manchester の Fallowfield Campus 内 Upper Armitage Studio A (写-1) において英語で行われた。

茶道の概論はポスター (写-2) で提示されていて、参加者には Q and A によるレジメが配布された。

レジメによると、

Q.1 お茶の木、葉とはなに？

A. 植物学的説明。

Q.2 茶道とはなに？

A. 抹茶と茶道のお道具についての説明。

Q.3 お茶に用いる和菓子はなに？

A. 抹茶と和菓子の役割についての説明。

Q.4 茶道の歴史は？

A. 茶の湯、茶道の歴史と作法の種類についての説明。

Q5 茶道の主要な心は？

A. 茶道は千利休らによって発展したが、その心とは和、敬意、清、静によるとしているなどの点についての説明。

Q6 茶道と禅の関連について。

A. 茶の伝来には禅宗の僧侶の中国への留学等が関連しているため、宗教と茶道の歴史的な関連などの説明。

Q7 何時、何処でお茶会はおこなわれるのですか？

A. 日本では四季折々、いろいろな目的で、茶道が楽しまれていますが、儀式的には目的をもって、茶室などを使っておこなわれます。

Q8 茶道はどのように習い伝えられてきたのですか？

A. わが国では、武士階級において普及し、近代では多くの習い事の一つとして広く一般化している教養文化のひとつですと説明。

Q9 IFUW 会員のワークショップのメンバーは茶道の紹介を通じて人々の平和と安全を祈念することが出来るでしょうか？

A. 日本には千利休を中心とする茶道の流派があります。詳しくはそれぞれの HP を参考にしてください。

Q10 JAUW にたいする御連絡は？

A. JAUW の HP、e-mail についての説明。

お茶会のはじめに茶道説明があり、お点前は亭主による盆点の師範とおはこび、御正客による扱いなどのあと客も個人指導により和菓子とお茶を楽しむという企画であった。

会場は開始前から行列ができ、予約による受付をするような盛況であった。

暖かいおもてなしとおいしいお茶と立派なお茶道具を拝見でき、貴重なひと時を過ごさせていただけた。これからも、このような機会に巧みに伝統文化を国際的に享受していけると思われた。

所感 2

本国際会議の日誌がインターネットをとうし、発信されるようになり、JAUW の HP にて次のような要点が公開された。新しい参加の仕方が可能になると感じられた。

以下は JAUW HP に掲載された IFUW 総会日誌より (抜粋)

-
- 2007/8/10 10 日夕方から総会が始まりました。
 - 2007/8/11 午前中はビジネスセッションがあった。午後は全体会議
夜は英国協会百周年祝賀会、色様々な民族衣装だった。
 - 2007/8/12 午前中にビジネスセッション 2 回目と全体会議
午後 学際的セミナーとワークショップ。
お茶会は大盛況
 - 2007/8/13 学際的セミナーとワークショップ
 - 2007/8/14 午前中 全体会議
午後は半日ツアー
 - 2007/8/15 午前中 全体会議で国連事務局次長 E.Kehn による講演「平和をつくる女性」があり、活発な質疑応答が行われた。
午後 会議
 - 2007/8/16 午前中 会議 3 年後の開催国メキシコの紹介で閉会
GALA DINNER で閉幕

ここで、あらためて、IFUW についてと IFUW と JAUW のつながりを紹介しておく。(JAUW の HP も参照)

IFUW(国際大学女性連盟)とは

世界 78 カ国の大学卒業女性による国際非営利、非政府団体である。本部はジュネーブにおかれ、3 年ごとに加盟各国回り持ちで、総会が開かれます。以下の目的を達成するために、各国でさまざまな状況に応じた活発な活動を展開している。また、国連諸機関に代表チームを派遣し、世界の重要な問題に対して直接発言をしている。

目的

1. 女性の生涯にわたる教育を推進する。
2. 国際協力、友情、平和と人権を推進する。
3. 女性の地位の向上を擁護し支持する。
4. 公的および私的な生活でのリーダーシップと意思

決定において、女性がその知識と技術を活用することを奨励する。

関連国連機関

1. 経済社会理事会（ジュネーブ、ニューヨーク、ウィーン）
2. 国際労働機関（ジュネーブ）
3. ユネスコ（パリ）

JAUW（日本の大学婦人協会）とのつながり

JAUW は 1955 年マニラ地域会議、ベルリンにおける評議会、ジュネーブにおける国際理解研究セミナーに初めて代表を派遣。日本では、2 回、国際会議が開催されている。

1974 年 第 18 回総会がアジアで初めて東京と京都で開催

1995 年 第 25 回総会が横浜で開催

IT 化の進歩は国際会議について、おてもとに配信できるこのごろです。未来の情報を得るアンテナとして有効に活用していただけることと推察し、御報告とする。

----- 抜粋完

報告写真



写真 1 キャンパス内の会場

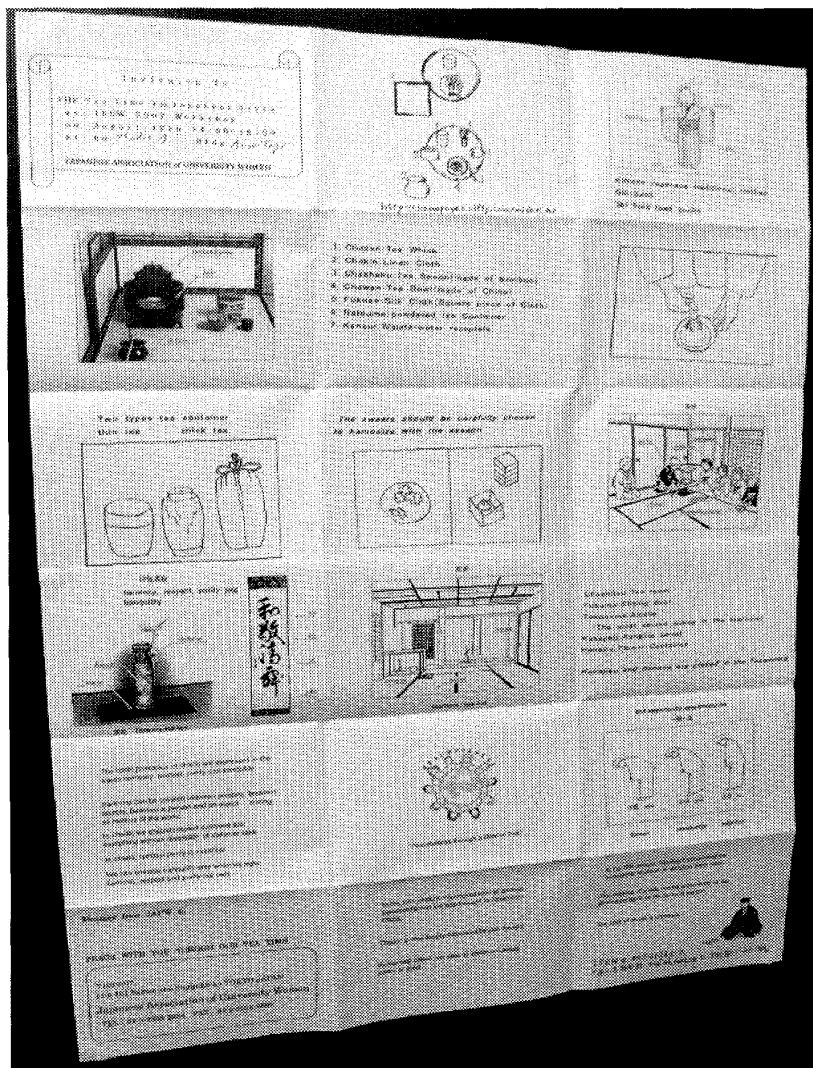


写真 2 お茶会の説明ポスター